

碓氷峠鉄道施設群の世界遺産登録を目指すシンポジウムを開催します

市は、碓氷第三橋梁(めがね橋)や丸山変電所等の碓氷峠鉄道施設群の世界遺産登録を目指しています。このたび、文化遺産のみならず自然遺産を含めた複合遺産を視野に入れ、碓氷峠や鉄道施設群の価値について広く知っていただくことを目的として、シンポジウムを開催します。今回は、「碓氷峠の地形と地質」をテーマに、講演やパネルディスカッションを通して碓氷峠や鉄道施設群の魅力に迫ります。多くの皆様の御参加を心からお待ちしています。

日時:3月14日(土曜日) 午後1時開場 1時30分開演(4時45分終了予定)

場所:松井田文化会館 小ホール

参加費:無料 定員:170人(申し込み不要)

講演内容:基調講演①「碓氷峠の周辺は妙義山と同時代の岩石からなっている」

講師:中島啓治 氏(元群馬県立自然史博物館副館長)

②「片峠の地形はなぜどのように生まれたのか」

講師:須貝俊彦 氏(東京大学大学院新領域創成科学研究科教授)

③「碓氷峠の鉄道と地形・地質の関わり」

講師:小野田滋 氏(鉄道総合技術研究所アドバイザー)

パネルディスカッション:

コーディネーター:萩原豊彦 氏(碓氷峠鉄道施設群世界文化遺産登録有識者会議 代表)

パネリスト: 基調講演講師3人

【問い合わせ】

みりよく創出部 観光課 世界遺産・道の駅推進室

TEL027-382-1111(内線 2628)

碓氷峠鉄道施設群世界文化遺産登録推進シンポジウム

地形・地質

碓氷峠



3月14日 土曜日

松井田文化会館 小ホール
13時開場 13時30分開演

「碓氷峠の地形と地質」

事前申込み不要
参加
無料

基調講演



「碓氷峠の周辺は妙義山と
同時代の岩石からなっている」

講師：中島 啓治 氏
(元群馬県立自然史博物館副館長)



「片峠の地形は
なぜどのように生まれたのか」

講師：須貝 俊彦 氏
(東京大学大学院新領域創成科学研究科教授)



「碓氷峠の鉄道と地形・地質の関わり」

講師：小野田 滋 氏
(鉄道総合技術研究所アドバイザー)

パネルディスカッション



コーディネーター：萩原 豊彦 氏
(碓氷峠鉄道施設群世界文化遺産
登録推進有識者会議代表)

パネリスト：中島 啓治 氏 / 須貝 俊彦 氏
/ 小野田 滋 氏

主催

安中市
碓氷峠鉄道施設群世界文化遺産登録有識者会議

問合せ

安中市みりよく創出部 観光課世界遺産・道の駅推進係
☎ 027-382-1111
E-MAIL kankou@city.annaka.lg.jp